

「き・ら・き・ら輝く神奈川！」フォトコンテスト選考結果

この度は、「き・ら・き・ら輝く神奈川！」フォトコンテスト（主催：神奈川集中観光キャンペーン実行委員会）に期間中、たくさんのご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。

応募総数 556 点の中から、審査の結果、次の通り入選作品を選定いたしましたので、発表させていただきます。

たくさんの素晴らしい作品のご応募をいただき、誠にありがとうございました。

最 優 秀 賞



タイトル：「残照」 撮影場所：江の島

応募者：吉田 孝 様

審査員講評:

キラキラ、自然、夕景、一瞬の写真表現ですべてを描いています。とても静かな光ですが、岩場に打ち付ける波と夕日がとても印象的です。自然の中の力強いキラキラ感と躍動感、相模湾越しの箱根山、富士山。素晴らしいシャッターチャンスをものにした作品です。

優 秀 賞



タイトル : 「母子の海」

撮影場所 : 逗子海岸

応募者 : 山田 俊次 様

審査員講評:

逆光のキラキラしたシルエットで遊ぶ母子。

沖にはウィンドサーフィン。

逗子の海の生活が世代を超えて表現されています。

優 秀 賞



タイトル : 「荒れる夕照」

撮影場所 : 葉山 森戸海岸

応募者 : 立川 明 様

審査員講評:

海の怖さ、自然の醍醐味がよく表現されています。夕日のオレンジがとても印象的です。

優 秀 賞



タイトル:「夜明け前の横浜港」

撮影場所 : 横浜大棧橋

応募者 : 稲谷 友良 様

審査員講評:

長時間露光でとてもきちんと撮影されています。全体ブルーの色味の中でマリントワーの赤がとてもインパクトがあります。氷川丸の歴史を見ているようで、とても感慨深い写真です。

審 査 員 奨 励 賞



タイトル :

「ケヤキに射し込む

秋の優しい光」

撮影場所 : 相模原公園

応募者 : 川瀬 閑人 様

審査員講評:

何気なく通り過ぎて行く毎日の中で一瞬を見逃さなかった作者の感性は素晴らしいですね。

枝の間から射し込む太陽をうまく利用しています。

審査員奨励賞



タイトル：「見つめる」

撮影場所： 鵜沼海岸

応募者： 東山 清司 様

審査員講評:

引き波に夕日が写り込み、その中にシルエットで少女を配置した構成力、相当なものです。

小さい体全体で波を見つめている存在感、素晴らしい写真です。



タイトル：「波紋」

撮影場所： 芦ノ湖(箱根町)

応募者： 磯部 浩史 様

審査員講評:

いつもは人が多い観光地をとても静かに写しています。

全体のバランスと海賊船との対比、色温度の変化により

自然の雄大さがうまく表現されています。

部門賞（夕景・夜景部門）



タイトル：「黄昏五重塔」

撮影場所:香林寺(川崎市麻生区)

応募者：清水 隆 様

審査員講評:

空のグラデーションが美しく、夕景から夜景への時間の変化がとてもよく表現されています。

部門賞（夕景・夜景部門）



タイトル：「濱の飛龍」

撮影場所：横浜中華街

応募者：藤川 豊彦 様

審査員講評:

龍の頭にきちんとピントがあり中華街に街並みが徐々にボケて行くことで、空気感が表現されています。

部門賞（自然風景部門）



タイトル：「春一番」

撮影場所：大井町

応募者：吉田 孝 様

審査員講評:

こんな自然がある街に住みたくなるような写真です。

光に陰影が少ないので、優しいもののぼのした写真に仕上がっています。

部門賞（自然風景部門）



タイトル：「湘南賛歌」

撮影場所：逗子マリーナ近く

応募者：間瀬 幾雄 様

審査員講評:

明るい太陽の光、セールの風、青い海、そして富士山。湘南の豊かさが写真から響いてきます。

部門賞（きら・きら輝く神奈川）



タイトル：

「恋人たちの

メリーゴーランド」

撮影場所：江の島

応募者：加藤 浩 様

審査員講評:

前ボケの光のメリーゴーランドが、キラキラ感を演出、レンズの特性をよく理解しています。

部門賞（きら・きら輝く神奈川）



タイトル:「足元の景色」

撮影場所：日本丸

(横浜市西区)

応募者:立川 明 様

査員講評:

全体を見ると幾何学模様な色彩豊かな写真ですが、よくよく見ると横浜の写真なんだとわかる不思議な写真です。

講評・総評 : 箱根写真美術館 館長 遠藤 桂 氏

<<総 評>>

「き・ら・き・ら輝く神奈川フォトコンテスト」に多数御応募いただきありがとうございました。素晴らしい作品ばかりで楽しく拝見いたしました。

昨今は、写真機材の進歩により誰でも簡単に綺麗な写真が撮れるようになってきました。応募作品にも同じような写真、場所、アングル、が多数見受けられました。

写真技術はあるのだけれど部門のカテゴリーから外れた作品、趣旨を理解しているのに表現しきれていない作品など、とても、残念に思う作品が多数見受けられました。

そのなかで今回、入賞された皆様の写真にはレンズやアングルの選択、時間帯の選び方、構図の作り方など、わかりやすく神奈川を表現して、撮られた写真ではなく、自ら表現したい被写体を写真で伝える力がある作品です。

神奈川にはフォトジェニックな魅力がまだまだたくさんあります。
これからも制作を通して豊かな写真生活を楽しんでください。

遠藤 桂